

梅の里から曾我丘陵～松田へ

日時：2022年11月14日（月） 曇 健脚LV1 歩数：32000歩 距離：20km

集合：JR東海道線国府津駅改札9時00分

コース：国府津駅→菅原神社→御殿場線沿いの道→用水路沿いの道→神奈川景勝50選・曾我梅林→小田原牧場アイス工房→農道→曾我丘陵尾根道→一本松跡→六本松跡→曾我山耕作放棄地再生地→不動山（標高328m）巻道→浅間山（標高305m）→いこいの村あしがら・四季の里→東名高速道路高架下→県道77号→大井美化センター→富士見塚ハイキングコース→蛍の水→地福禅寺→三島神社→矢倉沢往還の道標→樹齢800年大森のシイ→富士見塚（標高250m）→頼朝駒留の地石碑→神山神社前→川音川河川敷→小田急新松田駅

参加者：常盤 河野（L） 市村 風間

新型コロナウイルス感染が10月中旬ごろからまた増加に転じて、第8波の到来が懸念される11月。平日月曜日の14日、河野さんリーダーの西湘グループ4人で、国府津駅から曾我梅林～曾我丘陵～富士見塚～新松田駅までのコース下見をしてきました。平日とあって人にほとんど会わない三密(密閉空間、密集場所、密接会話)の心配がないハイキングでした。曾我丘陵は低山ですが少しアップダウンもあり歩きごたえあり、景観を望める所が何ヵ所もあり楽しいコースです。風間さんが「常盤さんの足の軽さにもビックリ」と言われているように、丘陵サクサクハイキングで秋の風と美味しい空気を味わい、秋深まる季節の草花と紅葉を楽しんで来ました。

写真は、富士見塚ハイキングコースの途中にある地福禅寺での紅葉を背景に撮った1枚です。



国府津駅 9時10分～菅原神社～御殿場線沿いを北上～用水路沿いの道

国府津駅駅舎は4階建て、いわゆる商業施設の駅ビルではなくお客様用の利用スペースは1階の改札付近のみで、その他のところはJR東日本運輸区などが使っているようです。開業は明治20年7月11日、駅舎前に「開業100周年」記念碑が建っていました。9時10分スタート、10分ほど歩いて菅原神社へ、境内に「わらべうた通りゃんせ」発祥の碑がありました。ストレッチをして御殿場線沿いを北上、バスが通っている県道72号線へ。東海道新幹線高架下、小田原厚木道路の高架下を歩き、住宅地を抜けて用水路沿いの桜並木道に出ました。玉泉寺を左に見て進んで行くと、少し黄色に色づいたイチョウの木が見えました。



用水路沿いの道～神奈川景勝50選・曾我梅林～10時40分 アイスイ工房

用水路沿いの道を抜けると曾我梅林です。ここは神奈川景勝50選の地で、長い稜線の明神ヶ岳、その奥に金時山山頂が見えました。晴れていれば富士山が見えるはずでしたがこの日は残念でした。梅林の中を歩きます。梅まつりの時期は観光客で賑わいますが、閑散としていて見えるのは梅園と作業をしている人だけです。めざすのは梅園の一角にある「小田原牧場アイスイ工房」。10時40分、アイスイ工房へ到着。お客さんは私たち4人だけ、豊富なメニューの中から「パリチョコ」カップレギュラーサイズ(350円)を購入。私は今年初めてのアイスクリームだと思います。甘さ控えめでミルクが濃厚な味でした。



アイス工房 11時～農道上り道～曾我丘陵尾根道一本松跡～六本松跡

アイス工房ですっかりゆったりタイム、11時丁度にウォーキング再開。農道を東方面に上って行きます。柚子畑、からすうり、ミカン畑と秋の実りを楽しみながらの上り道、30分ほどで曾我丘陵尾根道の一本松跡へ到着。ここからは北へ尾根道の下り、10分ほどで六本松跡へ到着。いにしえの頃から東西を結ぶ交通の要所で、この地の豪族が鎌倉に馳せ参じた鎌倉街道でもありました。南東方向に吾妻山、相模湾、その先に三浦半島、奥に房総半島。いにしえの西からの旅人もここまで上ってきて東方の景観を眺めたのでしょ。



六本松跡～箱根連山を眺めて昼食～不動山巻道～浅間山(標高 305m)

六本松から少し上って西側の箱根連山、二子山、駒ヶ岳、神山、外輪山の明神ヶ岳、金時山の景観が素敵な休憩場所へ。地元の人「曾我山耕作放棄地再生活動」で作られたベンチで昼食タイム。遠く西南の方向に初島も望めました。東風を受けて少し寒くなりました。午後のスタート、アスファルト道を上り、四叉路で山道に入ります。一本道ですので先頭歩きは自由で常盤さん、「常盤さん、足どり軽く快調ね」(河野リーダー)。この日の最高峰になるはずの不動山(標高328m)上り口へ、しかし足場が悪いので巻道でやり過します。下って上って、パラボラアンテナや配水池がある高台へ、ここが標高305mの浅間山です。



浅間山～赤田配水池～いこいの村・四季の里～東名高速道路高架下～県道77号

浅間山からはゆるやかな下り道、いこいの村をめざしてさらに北上。進行方向右手に弘法山（写真右手の低い山）が見えてきました。大井町の赤田配水池横を通過、町ホームページに「大井町の水道の水は、地下水をポンプで汲み上げ、導水管を通して浄水場に送って消毒を行い、送水管を通して配水池（6カ所）に送られ、配水管を通して家庭に水道水として届けています」と書かれています。農家の庭先の菊の花が見頃でした。13時35分、いこいの村あしがらに隣接する四季の里に到着。あいにくと休館日、小休憩をしてさらに北へ。東名高速道路高架下を通り県道77号へ出て14時20分、富士見塚をめざす上り道に入ります。



県道77号～大井美化センター～富士見塚ハイキングコース～蛍の水

ここからは反時計回りに、東西に伸びる県道77号の3時地点から足柄東部清掃組合大井美化センター～富士見塚ハイキングコースで地福禅寺～三島神社～富士見塚～9時地点の県道77号に出るコースです。アスファルト道を上って高台へ、ゆるやかな下り道を進んで行くと大井美化センターが見えてきました。そこを左折して富士見塚ハイキングコースへ、カウンターを押して入ります。「山道を通る時の人数確認カウンター?初めての事で楽しかったです」(風間)、ということで入念に押しているようです。沢沿いの道を上っていくこと10数分、民家のところへ出ると「大昔から枯れたことのない湧水・篠窪蛍の水」に出ました。



紅葉の地福禅寺～三島神社 矢倉沢往還の道標 樹齢 800 年大森のシイ

「富士見塚まで1.2km」の道標のところへ、畑や集落が広がるアスファルト道を進んで行きます。富士急篠窪バス停、その横に地福禅寺。紅葉をバックに写真を撮り。三島神社の前に矢倉沢往還跡の古い道標がありました。歩いて来た方向が渋沢・大山、これから行く方向が富士見塚・松田。以前歩いた渋沢駅から頭高山へ向かう途中の「矢倉沢往還の道標」、松田の先の足柄峠へ向かう「矢倉沢往還の道標」が思い浮かび、道が繋がりました。参道鳥居前に「篠窪の雄の大森のシイ」が、道路に覆いかぶさるように立っています。樹齢800年の歴史を刻んで、鎌倉時代から矢倉沢往還を行き交う旅人を見守ってきたのでしょうか。



三島神社～富士見塚(標高 250m)～駒留の地石碑～15 時 55 分 県道 77 号

富士見塚ハイキングコースは、三島神社前から右の上り道に入ります。富士見塚まではあと500m、柿には少し小さな黄色の実、「マメ柿よ」と常盤さん。15時25分、富士見塚に着きました。塚は「源頼朝が、巻狩の往還に馬をとめ、富士山を眺めた」といわれる標高250mの丘です。風間さんが、少し上の見晴台からスマホで富士山方面の写真を撮って来てくれました。塚のところに皇帝ダリアとトランペットフラワーが咲いていて、矢倉沢往還を少し下ったところに源頼朝が巻狩りのときに馬をとめた「駒留の地」石碑がありました。「松田駅まで2.1km」の道標、さらに下って行き15時55分、県道77号に出ました。



神山神社前～川音川河川敷～16時35分 新松田駅 3万2千歩 20km

県道77号から右に曲がって下って行きます。神山神社前を通り東名高速高架下を通過。川音川の橋を渡り河川敷に降りて右岸を川下に歩いて行きます。進行方向右手に川音川パークゴルフ場の芝生が広がっています。「パークゴルフってゴルフどう違うの」「芝生が本格的に整備されているね」「全国大会もあるそうよ」としばしパーゴルフ談議。空きスペースを利用してクールダウン、河川敷を出て街中を通り16時35分、明かりがともっている小田急新松田駅に着きました。歩数3万2000歩、距離20kmのハイキングでした。河野リーダーは「今回のコースは少し距離が長いので、下曾我駅からのスタートで距離を短くして、梅の香りが漂う3月にクラブで実施したい」と計画しています。



(いちむら記)